

高校生との意見交換会 報告書

学 校 名	第一学院高等学校 養父本校		
年 月 日	令和元年 10 月 25 日 (金)	会 場 名	第一学院高等学校 養父本校
開始時間	15 時 00 分	終了時間	16 時 05 分
参 加 数	生徒 6 人 (男性 4 人女性 2 人)	教 諭 6 人	合 計 12 人
班 長	谷垣 満	司 会 者	谷垣 満
報 告 者	全員	書 記	谷垣 満
班 員 名	谷垣満、藤原哲郎、荒田幹夫、足立隆啓、藤原芳巳		
	学 生	対 応	
意 見 交 換	<p>テーマ① 若者が住みたい、住みやすいまちにするには。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遊ぶところを作って欲しい。 (大きなショッピングモールや公園、夜開いている飲食店や駅前のコンビニ) ○公共交通の充実と改善 (電車とバスの接続、村岡方面への電車、歩道の拡幅と夜間照明) <p>テーマ② 若者のUターンに何が必要か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者がUターンしたい「意欲」とUターンできる環境が必要。「なりたい自分になれることや、自分が大事にしたい物事を大切にできること」がUターンの意欲につながる。 ○学生にとっては公共交通の充実は願いたい。(親に頼らなくても、自由に行動できる環境) 映画や買物も都市部に出向かなければいけないのは不便。住む町で完結できれば良いのでは。 ○どのようなUターン支援があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○確かに都会のような住みやすさを願う気持ちもわかる。一方で田舎ならではの住みやすさや快適さにも目を向けてほしい。 ○歩道の狭さや街灯の少なさなど当事者である学生にしか気づかないことがある。駅前のコンビニも含めて、他校の学生も不便に思っているのでは。願いを共有して学生や同世代で解決にむけて取り組むことも一案では。 ○東京など大都市は住むだけでもお金がかかる。田舎に住んで都会は「遊びに行くところ」という感覚を持った。そのような考え方もあるのでは。 ○若者の定住支援として、新築奨励金、空き家購入奨励金、増改築奨励金などの制度があり、U・Iターン者世帯には加算措置を行っている。起業に対する支援もある。積極的に情報を入手して活用して欲しい。 ※その他の質問事項については後日回答 	

市 民		対 応
意見交換	<p>テーマ③ その他</p> <p>○福知山駅の大型ショッピングセンターまでの無料シャトルバスは便利だと思う。また福知山からの通学に片道1,640円かかる。市外から養父市に通学する場合に負担になっている。(福知山からの場合片道1,640円、八鹿駅から学校までも片道500円以上)</p>	<p>○高齢者向けには初乗り150円でバスを利用できる制度はあるが学生にはない。</p> <p>市内在住者の遠距離通学費補助の制度はあるが、市外から養父市に通学する学生にはない。</p>
その他	<p>まとめ・その他感想</p> <p>○楽しかった。自分が思っていることを言えてよかった。</p> <p>○普段にはない機会よかった。Uターンには幼少期・学生時代のイメージが影響する。そのころに地元を不便と感じると帰ってきたいと思えないのでは。</p> <p>○緊張してうまく喋れなかったが、楽しかった。</p> <p>○普段住みやすいまちとか考えたことがなかったので、いい機会になった。</p>	
備考	なし	

高校生との意見交換会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和元年11月15日

報告者

班長 谷垣 満

